

		チェック項目	はい	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	学びと遊びのスペースを分けている。 2 プレールーム1部屋なのでパーティションの仕切りでは一人になりたい子どもの安心感は得られにくい。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	配置を満たしているか日々、確認を怠らないようにしている。
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	部屋全体に絨毯を使用しているため、万が一転倒した際に安全である。 3 怪我防止のための角面をカバーしている。 特性がそれぞれ違う子ども達が集う場所で、1部屋で過ごす事は工夫をしても追いつかない部分が多い。 事業所の構造上、バリアフリーではない箇所もある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	全職員が個々の状態を把握することができるように支援計画を大切にしている。また、モニタリングの内容を共有できている。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	アンケート調査の結果を事業所に掲示し、把握できるようにしている。
	6	この自己評価結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	5	1	ホームページにて結果を公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	現在は行っていないが、将来的に第三者評価を受ける場合は積極的に参画したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	定期的に研修会に参加をしている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	契約の際やモニタリングの際に聞き取りを十分に行い、支援計画に反映している。 0 ニーズを汲み取り個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	標準化されたアセスメントシートを用いて一人一人の発達や障がい特性を理解するようにしている。

適切な支援提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	週に1回以上職員会議を行い、意見を出し合う機会を作っている。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6	0	児童発達管理責任者を中心に意見を出し合いながら、活動内容を工夫している。 活動プログラムが固定化しないよう様々な視点から考えるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	休日や長期休暇は平日にできない活動や内容を話し合って工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	6	0	お子様に合わせ活動内容を考慮し、個別課題や小集団活動内容が固定化しないよう職員間で意見を出し合うようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	朝からミーティングで確認を行っている。 短い時間であっても支援の打ち合わせの時間を設けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	その日に振り返りを行っているが、できない時は次の日に行っている。 支援終了後に振り返りが持てない時は、次の日の朝に報告している。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	日々の記録はモニタリングの際に必要な情報が記載されているので、重要視している。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	6ヶ月に1回のモニタリングを必ず行い、保護者様の悩みや困り感に対して適切な助言を行うように努めている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	6	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	担当者会議にはサービス管理責任者が参画し、その結果報告会がある。

関係機関や保護者との連携

21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	必要に応じて行事や下校時間の変更をお尋ねしたりし、情報共有はしている。 送迎時などに学校の先生とお話することで、ご家庭との連携を図る為の手立てにさせて頂いている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	医療的ケアを必要とする児童が現在、在籍していない。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	
24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けいるか	5	1	お子様によっては子ども子育て応援センターや児童相談所、地域の保健師さんと連携をし適切なアドバイスを受けている。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	6	コロナが5類に移行したがまだ、感染のリスクがある為実行できていない。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	連絡帳を活用したり、送迎時に日々の状況について話をする機会を設けている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	相談があった際は助言などをする事があるが、ペアレント・トレーニングを実施しているとまでは至っていない。
30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	契約の際に十分な説明を行っている。また、それ以降も必要に応じ説明をしている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	連絡帳のやり取りや必要に応じて電話で保護者様と話し合いの場を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	今の現状としては取り組みは行っていないが、今後コロナの状況を見ながら考えていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	保護者様からの苦情は、児童発達管理責任者を中心に迅速に対応を行い説明責任を果たすように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	2ヶ月に1回かきざり便りを発行して活動の様子を伝えている。また、週に1回、日々のお子様の姿をブログにて発信している。
	35	個人情報に十分配慮しているか	6	0	ブログや会報に顔写真を掲載しない意向のお子様は、契約時に把握をし十分な配慮をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	口頭で伝えてわかりづらい、忘れてしまうといったご家庭に対しては書面で記すなど視覚的な支援を取り入れて配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	現在、実施できていない。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	各マニュアルを策定し、職員がいつでも手に取って確認できる場所に置いている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	計画に沿った訓練を実施し、訓練の際は職員間で役割を分担し連携をしている。火災想定訓練、地震想定訓練、風水害訓練を行い、保護者様にも訓練を実施したことを知らせている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	3か月に1回の虐待チェックリストで、支援の仕方の見直しを行っている。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	6	0	どのような事が身体拘束になるのかを保護者様に説明をし、身体拘束にかかわる同意書を交わしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	食物アレルギーで医師の指示書を有するお子様が現在在籍していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	ヒヤリハットを記載し、職員間で共有する事で事故防止に努めている。